

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【ボランティアを対象とした実践的研修】

受託団体名 兵庫日本語ボランティアネットワーク

1. 事業の趣旨・目的

兵庫県内中心とする地域の日本語教室で、「生活者としての外国人」に日本語支援活動を行っているボランティアに、日本語支援についての新しい考え方や方法論を学んでもらい、支援のあり方を改めて考えてもらう。そして、それぞれの日本語教室などで、支援活動のリーダー的存在になってもらう。

2. 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
5月26日	兵庫県国際交流協会	岸本雅男 丸山 巖 三木由美子 東慎太郎 山田耕治 矢野真也 向井俊樹 北村俊樹 水野マリ子 村山 勇 石光潤子 石井真美枝 岸本美紀 奥田純子 橘 礼子 米満隆子 田中香織 長嶋昭親 湯口 恵 高橋博子	講座日程の決定 講座内容の検討 講師の検討	兵庫日本語ボランティアネットワークの長嶋代表が概要を説明。日程を了承するとともに講座内容・講師を早く決定するよう要望があった。

7月21日	兵庫県国際交流協会	同上	講座内容と講師を決定。講座カリキュラムについても検討。	講座内容の一貫性が評価される。講座カリキュラムについて質疑があり、その方向性が了承された。
9月22日	兵庫県国際交流協会	同上	カリキュラムの最終決定。募集要項を検討し決定。	受講者の募集について条件緩和を求める意見があった。
1月26日	兵庫県国際交流協会	同上	実施報告。課題の検討	修了者が18人いて、アンケートも概して好評だったため、事業の継続を求める意見が多く出た。

【写真】



運営委員会(1月26日)



講座(12月24日)

3. 講座の内容について

- (1) 講座名
平成 23 年度文化庁「生活者としての外国人への日本語教育事業」
～日本語学習支援者ブラッシュアップ講座～
- (2) 開催場所
ア 講義 コミスタこうべ(神戸市生涯教育支援センター)
イ 実習 コミスタこうべ(神戸市生涯教育支援センター)
- (3) 学習目標
生活者としての日本語学習者が増加している状況を踏まえて、それぞれの学習者のニーズに応えるための多様な学習方法を知ってもらう。
- (4) 使用した教材・リソース
各講師が作成した教材を中心に、既成のテキストやインターネット教材なども利用した。またパワーポイントを多用して、受講者の理解をはかった。
- (5) 受講者の募集方法
兵庫日本語ボランティアネットワークに加入している地域の日本語教室にチラシを送って、受講者募集したほか、神戸新聞などに募集案内を掲載してもらった。また、兵庫日本語ボランティアネットワークが開いた退職教員向けの日本語教育講座や研修会の参加者にも参加を呼び掛けた。
- (6) 受講者の総数 26 人
- (7) 開催時間数(回数) 40 時間 (全 10 回)
講義 22 時間 (11 回)、実習 18 時間 (9 回)
- (8) 参加対象者の要件
日本語教室や子ども支援団体で日本語支援活動を2年以上経験した人。日本語学校の教員は原則として対象外だが、現在ボランティア教室で支援活動をしている人は認める。
- (9) 講座内容

回	開催日時	時間数	受講者数	講座名／学習内容	講師
①	11 月 5 日 10:00～12:00	4 時間	20 人	講座オリエンテーション こんな支援者になりたい	港島日本語教室 吉岡 則子 兵庫日本語ボランティアネットワーク 櫻井 久子
	13:00～15:00			成人の言語学習	大阪大学教授

					青木 直子
②	11 月 12 日 10:00~12:00 13:00~15:00	4 時間	15 人	学習者の話を聞く 学習者の物語	港島日本語教室 許 智仁 神戸定住外国人支援 センター V.タン 春井リュウボワ 東灘日本語教室 矯士龍 神戸定住外国人支援 センター 高橋 博子
③	11 月 19 日 10:00~12:00 13:00~15:00	4 時間	21 人	市民による日本語学習支援 ① ボランティアの話し方①	大阪大学教授 西口 光一 北九州市立大准教授 小林 浩明
④	11 月 26 日 10:00~12:00 13:00~15:00	4 時間	18 人	市民による日本語学習支援 ② ボランティアの話し方②	大阪大学教授 西口 光一 北九州市立大准教授 小林 浩明
⑤	12 月 3 日 10:00~12:00 13:00~15:00	4 時間	15 人	自己主導型学習概論 「教える」のをやめる	近大姫路大学講師 吉田 晃高 大阪大学教授 青木 直子
⑥	12 月 10 日 10:00~12:00 13:00~15:00	4 時間	15 人	アドバイジング概論 アドバイザーの言葉	近大姫路大学講師 吉田 晃高 兵庫日本語ボランティ アネットワーク 尾形 文
⑦	12 月 17 日 10:00~12:00	4 時間	18 人	目標設定のための能力観	近大姫路大学講師 吉田 晃高

	13:00～15:00			アドバイジングの方法①	兵庫日本語ボランティアネットワーク 尾形 文
⑧	12月24日 10:00～12:00 13:00～15:00	4時間	16人	リソースの種類 アドバイジングの方法②	大阪大学教授 青木 直子 ほか 兵庫日本語ボランティアネットワーク 尾形 文
⑨	1月7日 10:00～12:00 13:00～15:00	4時間	18人	学習方法のいろいろ アドバイジングの方法③	北九州市立大准教授 小林 浩明 兵庫日本語ボランティアネットワーク 尾形 文
⑩	1月14日 10:00～12:00 13:00～15:00	4時間	17人	アドバイジングの取り入れ方 振り返り 修了式	兵庫日本語ボランティアネットワーク 尾形 文 兵庫日本語ボランティアネットワーク 代表 長嶋 昭親

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

講座最終日にアンケートを実施し、当日の欠席者については後日郵送してもらった。

その結果からも、学習者のニーズを重視し、自己主導型学習を目指すという研修の目的がかなり理解されていたと言える。

(アンケート結果は、報告の後に添付)

② 実施主体からの研修内容結果評価

講座の内容に一貫性を持たせたことが、受講者に理解されており、目標がかなり達成されと言える。特に、学習者の立場に立って、「教える」のではなく、あくまで学習者が自分で学習するのを「支援する」ことが、「生活者としての外国人」に対しては重要であることが理解されたと考えられる。毎回のよう講義だけでなく、ワークショップを加えることによって、理解度を増すことができた。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

兵庫日本語ボランティアネットワークに加盟している教室・団体の支援者を対象に、講座の

ほか研修会も開催しており、その内容の充実をはかる。また、兵庫県との協働事業として日本語支援を求める企業(団体)への講師の派遣を実施しており、その拡充も検討する。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

兵庫県日本語ボランティアネットワークでは、初心者向けの日本語支援者養成講座と退職教員向けの日本語教育講座も開催しており、それらの講座の修了者を実際の活動に参加してもらったうえで、ブラッシュアップ講座に参加してもらい、さらなるレベルアップを図っている。また、講座の期間中に研修会も開き、講座受講者にも参加してもらって、学習効果を高めている。

② 研修後の人材活用

受講者のうち、現在支援活動をしていない人に日本語教室を紹介するなどして、実際の活動に参加してもらうよう働きかけている。

(12) 今後の課題

ブラッシュアップ講座を3回開催したが、今回午前・午後とハードなスケジュールのため受講者が減る傾向であったので、今後はスケジュールを再考し受講者の確保していくことが一つの課題になる。

平成 23 年度文化庁生活者としての外国人への日本語教育事業

「日本語学習支援者ブラッシュアップ講座」 アンケート報告

日本語学習支援者ブラッシュアップ講座は 1 月 14 日に終了しました。
アンケートの回答者は 17 人です。

1 この講座をどこでお知りになりましたか。

- | | |
|-------------------------|-----|
| a 兵庫日本語ボランティアネットワークの案内で | 7 人 |
| b 地域の日本語教室で | 4 人 |
| c 知人から | 2 人 |
| d 神戸新聞で | 1 人 |
| e その他 | 3 人 |

2 講座について

(1) 内容について

- | | |
|-------------|------|
| a よかった | 13 人 |
| b まあまあよかった | 4 人 |
| c ふつう | 0 人 |
| d あまりよくなかった | 0 人 |
| e 全然よくなかった | 0 人 |

理由・意見

- ・毎回毎回新しい発見があり、ワクワクの連続でした。全講座とも充実した内容で、受講できて本当に良かったと思っています。
- ・1 日に 2 つのテーマが取り扱われ、また全テーマが体系化されていて、とても良いプログラム構成になっていたと思います。
- ・午前中に勉強、午後から具体的にみんなで考える機会があるので、講座の内容理解が深まった。
 - ・日本語を教えるのではなく、学習者が自分で動くことを支援するという考えが新鮮でした。
 - ・自分が教育全般について考えていたことが、日本語学習支援についても生かされると確信できた。
 - ・自己主導型学習への理解が進んだ。かなり難しいところもあるが、できるだけ自分のボランティア活動に活かしていきたい。
 - ・ボランティアをするに当たっての具体的な指針が示されていた。

- ・いろいろな先生方のお話が聞けて良かった。何度聞いてもわからない先生もあった。

(2) 期間（午前 2 時間 午後 2 時間×10 回）について

a 短かった	1 人
b ちょうどよかった	12 人
c ふつう	3 人
d 長すぎる	1 人

理由・意見

- ・講義される方との意見を交換できる時間があり、1 回 2 時間が集中力を保つのに良い時間でした。
- ・長い気もするが、講座の内容を身につけるには、これだけの期間は必要だと思う。
- ・3 か月というコース期間は良かったですが、もっと先生方のお話をうかがい、学ばせていただきたかったように感じます。
- ・土曜日の午前午後の講座でしたので、当初は受講するか否か迷いましたが、大変充実した内容でしたので、全 20 回があつという間に感じられて有意義な時間となりました。
- ・これ以上長かったらしんどいかも知れないと思いました。
- ・午前午後の連続は少々疲れた。
- ・主婦には少しきつかったです。
- ・ちょうど問題意識が生まれ、アドバイジングという考え方が身に付きましたので、実践的なものをあと 2～3 カ月ほしいです。
- ・欲を言えば昼休みが 10 分長ければ。

(3) 講師・スタッフについて

a よかった	13 人
b まあまあよかった	4 人
c ふつう	0 人
d あまりよくなかった	0 人
e 全然よくなかった	0 人

理由・意見

- ・大学の日本語教育の専門家や実際にボランティアを経験している方からの講義で、実践的だった。
- ・各領域のご専門の先生方のバラエティーがあり良かったです。スタッフの皆さんもとても親切で、毎回笑顔で迎えていただき、感謝でいっぱいです。
- ・いろいろな講師の方のお話や考えが聞けて、良い経験でした。スタッフの方もと

でも親切で、気持よく通うことができました。

- ・講師全員が自己主導型学習を推進することで意志統一されていたのが良かった。
- ・新しい視点から考えていただき、全体が一つの流れで統一されていた。
- ・すばらしい講師陣でした。特に西口先生のお話は大変興味深いものでした。小林先生のワーク活動も楽しく、また学習者の体験談はとても参考になりました。
- ・大学で講義を受けているみたいで、とても良かったです。勉強したい気にさせるのもスタッフ・講師の皆さんのおかげです。
- ・大学の先生の話は専門的な用語が使われることが多かったので、やや難しく思いました。
- ・前回受けた講師の方とダブっていて、内容が似ていた。

3 講座を受けて

(1) ここで学んだ日本語学習支援法について

a とても参考になった	13 人
b まあまあ参考になった	4 人
c ふつう	0 人
d あまり参考になった	0 人
e 全然参考になった	0 人

理由・意見

- ・具体例やリソースなど、即実践で使えるものなので、とても良かったと思います。
- ・教材、テキスト例、ボランティアとしての考え方を学んだ。
- ・教室で役に立ちそうなことをたくさん学べました。
- ・文型積み上げ法以外の支援方法を知ることができて良かった。
- ・今まで考えもしなかったもので、刺激的でした。
- ・自己学習という考え方に共感を覚えた。
- ・アドバイジングという新しい方法が参考になった。
- ・知らなかったことを紹介されたおかげで、新たな興味の対象ができた。
- ・日ごろ考えていたことが、おおむね筋道立てて確認できた。

(2) 今後あなたが目指す日本語学習支援についての課題が

a とても明確になった	3 人
b まあまあ明確になった	13 人
c ふつう	1 人
d あまりわからなかった	0 人

e 全然わからなかった

0 人

理由・意見

- ・日本語学習支援をより効率的にするために、学習者を主体に据え、言語学習に関するアドバイジングを採り入れ、学習者が自ら学んでいけるように支援していくことの大切さを実感しました。
- ・指導するという立場でなく、支援する立場であることが大切だと理解できました。自己主導型学習ということをお願いしていきたい。
- ・自己主導型学習を目指したい。
- ・6年ほどブランクがあり、再開にあたりたくさんの不安材料がありましたが、この講座を受講し、新しい支援法を学ぶことができ、それに伴う課題も見えてきたように思います。
- ・とにかくよく話を聞いて、ニーズや学習環境などを知ること、また振り返りが大切である。
- ・支援者の日本語レベルはさまざまであり、各自にあった学習支援計画が必要だ学んだことをベースに計画を立てたい。
- ・ようやくこうしようかなーと思えた段階です。
- ・それぞれの教室で実態が大きく違うので・・・。

(3) とても役に立ったと思われる（記憶に残る）講座、講師をあげてください。

講座

市民による日本語習得支援	6 人
学習者の話を聞く	5 人
「教える」のをやめる	3 人
学習方法のいろいろ	3 人
いい会話パートナーになるために	2 人
アドバイジングの方法	2 人
リソースの種類	2 人
成人の言語学習	1 人
自己主導型学習概論	1 人
アドバイジング概論	1 人

講師

小林浩明先生	8 人
青木直子先生	5 人
西口光一先生	5 人
尾形さん	2 人

吉田晃高先生	1 人
脇坂真彩子さん	1 人
許智仁さん	1 人
学習者の皆さん	1 人

3 ここで学んだことを

a 現在している日本語学習支援に活かしていきたい	10 人
b すぐには活かさないが、なんらかの参考にしていきたい	5 人
c わからない	0 人
d さらに研修を受けて、将来考えたい	2 人
e 参考にならなかったなので、活かしていくつもりはない	0 人

* これからのこと及び全体を通じてのご意見・ご感想

- ・学ぶことが本当にたくさんあった講座だったと思います。先生方のお話はもちろんのこと、参加されている方々との意見交換も大変興味深く、良い出会いもたくさんありました。現在支援している子どもたちが学校生活で困らないよう、いろいろな面で支援したいと思っています。
- ・ボランティアをするうえでの学習の進め方やアドバイジングの方法、いろいろ学べたと思います。ほかのボランティアの方のお話も聞けましたし、とてもためになりました。いろんなリソースやその活用の仕方についてもよく理解できたと思います。これからの活動に活かせたらと思います。
- ・学習支援の土台となる学習者の理解とアドバイジングの重要性を知る貴重な機会となりました。
- また、学習者を常に主体に置き、学習者が自ら日本語学習に取り組んでいける素地の育成の大切さにも気付かせていただきました。今回学ばせていただいたことは、日本語学習支援はもちろんのこと、ほかの学習支援においても役立つものと確信しております。頑張りたいと思っています。
- ・学習者主導という原点にかえて、ボランティアのあり方も含めて刺激を受け考えさせられました。
- 今はまだ駆け出しボランティアですが、少しずつ学び研磨して、活動を続けたいと思います。
- ・これまで学習の度に、この方法でいいのかと自問していたが、アドバイジングの講義を受けて、支援の方向がわかってきた。是非あすからの学習に取り込んでいきたいと思っている。
- ・自己主導型学習、アドバイジング等について学べて、とても役に立った。支援者と

しての話し方や 聞き方についても、実技を体験しながら学習できたことが良かった。

- ・今回のようなボランティアのあり方そのものに関する研修は少ない。しかし、これこそが学習支援に際して必要だと思います。自分の教室でも自己主導型学習という考え方を広めていきたいと思っています。
- ・意識の変革をはかるうえで大変参考になった。できればフォローアップ講座を設けてほしい。
- ・今回の講座に参加して、新しい支援法を学ぶことができました。今後も自分の支援法を振り返る機会がほしい。
- ・活かせることから活かしていきたい。もっとほかの受講者との交流がしやすいようになればと思います。
- ・講座を通じていろいろな人と話したり、情報をもらって、いい出会いの場になりました。
- ・今回受けた講義を整理して、今後に活かしていきたいと思いました。
- ・自分ができる学習支援は何か探っているところです。アドバイスが受けられる窓口があればいいなと感じています。
- ・いろいろな先生のお話が聞きたい。
- ・退職教員のための講座とブラッシュアップ講座と2講座続けてお世話になりました。これからどこかで支援したいと思っています。